

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年	3	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

- ・現代の社会について多面的に考えるための基本的な知識を身につける。【知識・技能】
- ・現代社会における政治的・経済的な諸課題を考察し、社会認識を養う。【思考・判断・表現】
- ・興味を持って授業に臨み、現代社会で主体的に生きることができる力を培う。【学習に向かう態度】

2、使用教科書・副教材

高等学校 改訂版 新現代社会 (第一学習社)

3、学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	社会認識の形成につながる基本的な知識や技能を身につけている。	さまざまな情報をうまく取捨選択し、自分の考えを深めようとしている。	興味をもって授業に参加し、主体的に課題に取り組んで自分の考えをもとうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の結果 ・プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言、調べ学習 ・プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言、調べ学習 ・プリントへの取り組み、記入内容 ・生徒による自己評価

4、学習 および評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

		単元および学習の内容	時数	評価規準
一学期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス 「現代社会」で何を学ぶか ・現代社会を考える上で必要な基本事項を学ぶ。 ・私たちの生きる社会 ・個人の尊重と法の支配 ・日本国憲法の基本原理 	28	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会を学ぶ意味を理解している。(a) ・現代社会について興味を持ち、現代社会の成り立ちや特色について理解している。(a)(b)(c)
	5月			
	6月			
	7月			
二学期	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の民主政治と政治参加 日本の平和主義 基本的人権の尊重 日本の政治のしくみ 日本の裁判と地方自治 	30	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に参加し、日本の民主政治の特徴や課題について理解している。(a)(b)(c)
	9月			
	10月			
	11月			
三学期	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・経済と国際社会 経済の基本事項 国際社会の動向 国際社会における日本の課題 	20	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における日本の課題について理解し、課題についての自分の考えをもっている。(a)(b)(c)
	1月			
	2月			
	3月			

計78

5、学習にあたって(アドバイスなど)

現代社会を生きる上で、政治、経済、国際関係についての基本的な知識は必要不可欠です。日本や世界の国々の政治や経済、国際関係について学ぶことによって、人類が何をめざしてあゆんできたのかということを考えたり、人類が直面する課題を知ることができます。日本や世界の状況について興味をもったことは、自分でも積極的に調べてみましょう。毎時間、しっかり授業のプリントを完成させ、疑問をもったり自分の考えをもてるようにしましょう。

教科	地歴	科目	世界史A	単位数	2	学年	2	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域における文化や生活の営み、歴史のあゆみについて理解する【知識・技能】 特に人物に焦点を当て、日本との関係にも着目しながら歴史的な背景を考える。【思考・判断・表現】 興味を持って授業に臨み、「共生」という観点から自分の考えをもてるようにする。【学習に向かう態度】
--

2、使用教科書・副教材

新版 世界史A 新訂版 （実教出版）

3、学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	歴史認識の形成につながる基本的な知識や技能を身につけている。	さまざまな情報をうまく取捨選択し、自分の考えを深めようとしている。	興味をもって授業に参加し、主体的に課題に取り組んで自分の考えをもとうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の結果 プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、調べ学習 プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、調べ学習 プリントへの取り組み、記入内容 生徒による自己評価

4、学習 および評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

		単元および学習の内容	時数	評価規準
一学期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 「世界史」で何を学ぶか 諸地域世界と交流圏 	28	<ul style="list-style-type: none"> 世界史を学ぶ意味を理解している。(a) 世界の諸地域のことに関心を持ち、各地域の歴史的な特徴について大まかに理解している。(a)(b)(c)
	5月	<独自の文化を形成してきた諸地域の多様な文化を、それを生み出した風土とともに学び、世界の多様な文化に触れる。>		
	6月	人類の誕生と古代文明		
	7月	東アジアと古代中国 南アジアの世界 イスラムの世界 ヨーロッパの世界 アフリカ・アメリカの世界		
二学期	8月	<ul style="list-style-type: none"> 一体化する世界 	30	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加し、どのように世界が一体化してきたかについて大まかに理解している。(a)(b)(c)
	9月	<諸地域の交流が本格的になり、諸地域が結びつき、真の意味での世界史を学ぶ一体化に向かう世界>		
	10月	ヨーロッパの世界進出		
	11月	ヨーロッパ・アメリカの諸革命 帝国主義と世界		
三学期	12月	<ul style="list-style-type: none"> 現代の世界と日本 	20	<ul style="list-style-type: none"> どのように現代社会が形成され、どのような課題があるのかについておおまかに理解し、課題についての自分の考えをもっている。(a)(b)(c)
	1月	<現代の複雑な世界を、歴史的過程を通して理解し、将来の世界を展望する。>		
	2月	急変する人類社会		
	3月	2つの世界戦争と平和 冷戦下の世界 現代の課題		

計78

5、学習にあたって（アドバイスなど）

現代社会を生きる上で、過去の歴史から学べることはたくさんあります。特に人物を中心として学ぶことで、その人物の失敗や成功から多くのことが学べます。また、日本の歴史と関連させることで日本のあゆみにも目を向けることができます。世界の諸地域の出来事やそれを担った人物のことに興味をもち、自分でも調べたりしましょう。毎時間、しっかり授業のプリントを完成させ、疑問をもったり自分の考えをもてるようにしましょう。

教科	地歴	科目	地理総合	単位数	2	学年	1	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の地理について考えるための基本的な知識を身につける。【知識・技能】 ・現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、地理的認識を養う。【思考・判断・表現】 ・興味を持って授業に臨み、国際社会に主体的に生きることができる力を培う。【学習に向かう態度】

2、使用教科書・副教材

高等学校 地理総合 (第一学習社) 基本地図帳 (二宮書店)

3、学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	地理的認識の形成につながる基本的な知識や技能を身につけている。	さまざまな情報をうまく取捨選択し、自分の考えを深めようとしている。	興味をもって授業に参加し、主体的に課題に取り組んで自分の考えをもととしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の結果 ・プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言、調べ学習 ・プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言、調べ学習 ・プリントへの取り組み、記入内容 ・生徒による自己評価

4、学習 および評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

		単元および学習の内容	時数	評価規準
一学期	4月	・ガイダンス 「地理総合」で何を学ぶか ・地理の基本事項の学習 身近な地域→日本→世界と学習範囲を広げて、学習する。 (都道府県名、国名、地名など) ・国家の結びつきとグローバル化する社会 日本の位置、地球儀と地図、時差	28	・地理を学ぶ意味を理解している。(a) ・日本や世界の地理について興味を持ち、各地域の大まかな様子について理解している。(a)(b)(c)
	5月			
	6月			
	7月			
二学期	8月	・生活・文化の多様性と国際理解 世界の気候区 衣食住から見る世界 〃 宗教と人々の暮らし	30	・授業に積極的に参加し、各地域の生活や文化の違いについて理解している。 (a)(b)(c)
	9月			
	10月			
	11月			
三学期	12月	・地球的課題と国際協力 資源エネルギー問題、人口食料問題 地球環境問題 民族問題	20	・日本と世界の地理的課題について理解し、課題についての自分の考えをもっている。 (a)(b)(c)
	1月			
	2月			
	3月			

計78

5、学習にあたって(アドバイスなど)

現代社会を生きる上で、地理的な知識は必要不可欠です。 日本の地理はもちろん、世界の諸地域の地理を学ぶことによって、日本の地理的特色や日本が世界の中でどのような状況におかれているかということを知ることができます。 日本や世界の地理について興味をもったことは、自分でも積極的に調べてみましょう。 毎時間、しっかり授業のプリントを完成させ、疑問をもったり自分の考えをもてるようにしましょう。

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年	4	科	機械科
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> 日本の各時代における文化や生活の営み、歴史のあゆみについて理解する【知識・技能】 特に人物に焦点を当て、周辺諸国との関係にも着目しながら歴史的な背景を考える。【思考・判断・表現】 興味を持って授業に臨み、「共生」という観点から自分の考えをもてるようにする。【学習に向かう態度】
--

2、使用教科書・副教材

高等学校改訂版日本史A「人・くらし・未来」（第一学習社）

3、学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	歴史認識の形成につながる基本的な知識や技能を身につけている。	さまざまな情報をうまく取捨選択し、自分の考えを深めようとしている。	興味をもって授業に参加し、主体的に課題に取り組んで自分の考えをもととしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の結果 プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、調べ学習 プリントの記入内容 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、調べ学習 プリントへの取り組み、記入内容 生徒による自己評価

4、学習 および評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

		単元および学習の内容	時数	評価規準
一学期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 「日本史」で何を学ぶか 日本のあゆみをふりかえろう 	28	<ul style="list-style-type: none"> 日本史を学ぶ意味を理解している。(a) 日本の歴史について興味を持ち、各時代の大まかな動きについて理解している。(a) (b) (c)
	5月			
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 近代への胎動 開国と幕末社会の動乱 		
	7月			
二学期	8月	<ul style="list-style-type: none"> 近代国家の形成 国際関係の推移と近代産業の発展 第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本 	30	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加し、日本の戦前のあゆみについて大まかに理解している。(a) (b) (c)
	9月			
	10月			
	11月			
三学期	12月	<ul style="list-style-type: none"> 日本の再出発 独立後の政治と経済の発展 現代の日本と世界 	20	<ul style="list-style-type: none"> 日本の戦後のあゆみと課題についておおまかに理解し、課題についての自分の考えをもっている。(a) (b) (c)
	1月			
	2月			
	3月			

計78

5、学習にあたって（アドバイスなど）

<p>現代社会を生きる上で、過去の歴史から学ぶことはたくさんあります。特に人物を中心として学ぶことで、その人物の失敗や成功から多くのことが学べます。また、周辺諸国の歴史と関連させることで日本の歴史を多面的に学ぶことができます。日本の各時代の出来事やそれを担った人物のことに興味をもち、自分でも調べたりしましょう。毎時間、しっかり授業のプリントを完成させ、疑問をもったり自分の考えをもてるようにしましょう。</p>
--